

コミュニティとの協働

基本方針

ファイントゥデイグループは、中長期ビジョン「Fine Today & Tomorrow 2030」の中で、生活者をはじめとする各ステークホルダーとの共栄を目標の一つとして掲げ、コミュニティとの協働に積極的に取り組んでいます。

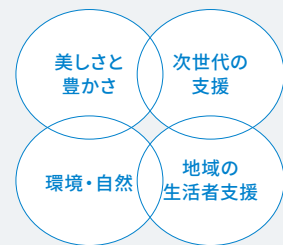
こうした活動を着実に推進していくために、「ファイントゥデイグループ

ファイントゥデイグループ 社会貢献方針

私たちは、「世界中の誰もが、素晴らしい一日を紡ぎ、いつまでも美しく、豊かな人生を送れるようにすること」というパーパスを掲げ、その実現に向けて活動しています。

社会貢献活動においても、常にパーパスについて考え、パーパスおよび各ブランドが掲げるブランドパーパス実現に貢献することを目的として、コミュニティを支援します。

重点領域



活動検討・実施判断の視点

- 重点領域の活動を通じて、パーパスまたはブランドパーパス実現に貢献する。
- 社員がバリューを実践する活動である。
- 社会インパクトと企業価値を両立する視点を持つ。
- NPO/NGOを含むさまざまなステークホルダーと協働し、それぞれの強みを生かす。
- 社員が持つスキルやノウハウの提供を含む、経営資源を有効に活用する。

社会貢献方針」を2023年3月に制定。「美しさ豊かさ」「環境・自然」「次世代の支援」「地域の生活者支援」の4つの重点領域を中心に継続的な活動を進めることで、社会インパクトの創出と企業価値の向上に取り組んでいます。

推進体制

ファイントゥデイグループ 社会貢献方針の制定に合わせて、実行のための「社会貢献ワーキンググループ(WG)」を発足させました。同WGは、「グループの社会貢献活動に関する情報の収集と共有」「グループの社会貢献支出総額の把握」「社会貢献活動に対するガバナンス機能の構築」をミッションとしています。WGのメンバーは、担当領域における社会貢献活動の推進や情報収集を担っており、グループ会社などが一定額以上の寄付を行う際は、その実施可否の審議に参画することとしています。

また、2023年度は従業員個人やチームの社会貢献活動を表彰する「FT&T*表彰制度」を新設しました。こうした制度も活用してグループ全体でパーパスの実現に寄与する社会貢献活動を促進するとともに、適切に情報を収集できるガバナンスシステムの構築を目指しています。

※ Fine Today & Tomorrow。

— 主な寄付実績(2022年度) <ファイントゥデイ>

寄付先	内容
神奈川県	• 9製品(計52,002点)を寄付
千葉県我孫子市	• 12製品(計7,122点)を寄付
特定非営利活動法人フローレンス	• ども宅食事業に対して現金100万円を寄付
特定非営利活動法人 Living in Peace	• 1製品(408点)を寄付 • どもプロジェクトに対して現金100万円を寄付

— 社会貢献活動に対する受賞一覧(2022年度) <ファイントゥデイ>

表彰機関・団体	内容
内閣府	紺綬褒章 https://www.finetoday.com/jp/news/newsrelease/20220902/
神奈川県	感謝状 https://www.finetoday.com/jp/news/newsrelease/20220316/
千葉県我孫子市	感謝状 https://www.finetoday.com/jp/information/20221227/

Webサイト **ステークホルダーとのコミュニケーション**
<https://www.finetoday.com/jp/sustainability/social/stakeholders/>